

ARMS

アームズ

問:アームズ ☎026-252-5220



specification

Engine
 最大出力420PS
 ●エンジン形式SR20DET●排気量1998cc●ボア86mm×ストローク86mm●圧縮比8.5●ピストン:ノーマル●クランク:ノーマル●ガスケット:メタル1.2mm●カム:IN256度EX264度●バルブスプリング:ノーマル●ポート加工:ノーマル●燃焼室加工:ノーマル●タービン:HKS GT2835Pro S (A/R0.68) ●最大ブースト:1.3kg/cm²●ブースト制御パーツ:BLITZ SBC●ブローオフバルブ:なし●給排気系●サージタンク:TRUST●EXマニ:BOSS 42.7φステン4-1集合●マフラー:エキスパートOZ 80φステンデュアル●インタークーラー:HPI●エアクリナー:BLITZ●SUSパワー●インテークパイプ:ARMS●サクシジョンパイプ:ARMS●冷却系・潤滑系・燃料系●オイルクーラー:TRUST●ラジエター:KOYO●オイル:RED LINE●メインインジェクター:850cc/min×4●燃料ポンプ:NISMO●感圧:3.0 kg/cm²●点火系●プラグ:NGKレーシング●コード:YASHIO Factory

Drivetrain
 ●クラッチ:NISMO●ディスク:NISMO●フライホイール:NISMO●ミッション:HPI強化6速●デフ:NISMO●フイナル比4.1●ミッションオイルキャッチタンク:ARMS●デフオイルキャッチタンク:ARMS

Tire&Whee
 ●タイヤ:ADVAN NEOVA AD07 (F 235/40-17)

(R 255/35-18) ●ホイール: RAYS GT-7 (F 9J-17) (R 10J-18)

Suspension
 ●ショックアブソーバー: DG-5 ●スプリング: Swift (F 9kg-mm) (R 7kg-mm) ●ブレーキキャリパー: R33 GT-R プレンボ ●ブレーキパッド: エンドレス ●ローター: ディクセル ●ホース: ARMS ●フルード: ENDLESS ●ボディ補強: サイトウロールケージ10P

Exterior
 ●フロントバンパー: j.blood ●サイドステップ: j.blood ●リアバンパー: j.blood ●ボンネット: j.blood

Interior
 ●メーター: APEX ●ステアリング: NARDY ●シート: BRIDE ●シートベルト: HPI



このままでも車検に通るスペックのD1ストリートリーガル車両
 普段乗りもできて大会でも勝てる実力を秘めたオーナーカー



サイドステップはj.blood製。通常のFRPタイプと耐衝撃性に優れたソフトFRPがある。



中央下部がディフューザー形状に成型されたスタイリッシュなリアバンパー・スポイラー。



サクシジョンパイプ・インタークーラーパイプ類はARMSオリジナルを使用している。



タービンはアクチュエータータイプのGT2835Pro Sを装着する。EXマニはBOSS製。



足まわりは乗り心地もよく、トラクションの掛かりもよいDG-5をセレクトしている。



フロントのボルックGTF7をリプレースし、コストも抑えながら、より安定した走りを実現している。



エキスパートOZのデュアル出しマフラーにチタン製の延長パイプを装着。リアまわりを迫力あるフォルムに演出している。



パネレートはフロントが9.0kg。リアが7.0kgとなっている。減衰の調整範囲が広いので、オールラウンドにカバーできる。

完全車検対応のドリフトマシンは速さと耐久性を併せ持つ

車検取得の必要がないD1車両に対して、普段街乗りにも使っているクルマで戦うD1ストリートリーガルシリーズ。内装とオーディオの装着が義務付けられていて、その名の通り、車検適合車でのみエントリーが認められている。

そんなD1 SL (ストリートリーガル) に参戦するためにARMSで製作されたのが、2008シリーズ第5戦からエントリーしている小林選手がオーナーのSL仕様のS15シルビア。

コンセプトはシリーズを通してフル参戦できる耐久性を持ち、なおかつ大会で勝てる実力を兼ね備えたドリフトマシン。気を使っているポイントは壊れないクルマ作りと、ワンオフパー

ツを極力使わないということ。これはコストを抑えるためと、万が一のトラブル発生時にも、市販パーツを使用していれば部品交換で容易に対処できるという理由からだ。

エンジン本体はノーマルながら、メタルガスケットとHKSのカムを組み込み、レスポンスとパワーを両立したGT2835ProSタービンを選択。インタークーラーの中置化と、大容量サージタンクの効果もあり、全域にわたリトルクとレスポンスが向上して扱いやすい特性に仕上がっているという。とはいえ、ブースト1.3kg/cm²で420馬力の実力。戦闘力は相当高く、今後の活躍に期待が掛かるところ。

SL車両なので車検対応なのはいうまでもないが、ARMSではこういった仕様の他にも、予算に応じたチューニングを行っている。



ストリートリーガルのレギュレーションにあわせて、内装とオーディオが装着されている。ロールケージはパッドが巻かれて車検対応。



リアのサスペンションアーム類を調整式に交換。アライメント調整の幅を広げて、コースに合わせたセッティングを可能にしている。